

2025年度

大学院医療保健学研究科口腔科学専攻(修士課程)

専門科目(口腔保健学)

問題用紙

<注意>

- この問題は、歯科衛生士の免許をお持ちの方用(取得見込みを含む。)です。
- 受験番号を次に記入してください。
- 監督員の指示があるまでは、この表紙を開かないでください。
- 解答を始める前に、落丁等がないかを確認してください。
- 問題は3問あります。この3問から2問を選択して解答してください。なお、選択しなかった問題には、大きく「×」印を記入してください。
次に、専門科目中、選択した問題の番号を記入してください。

- 解答用紙及び下書き用紙をそれぞれ2枚配付します。解答用紙に受験番号と選択した問題の番号を、下書き用紙に受験番号を記入してください。
- 問題用紙、解答用紙及び下書き用紙は、全て回収します。
- その他、監督員の指示に従ってください。

2024年12月8日(日)実施

問題は、次のページから始まります。

専門科目・口腔保健学 1

72 歳の女性。食事しにくいことを主訴として来院した。半年前から口の中がネバネバして食事に時間がかかるようになったという。水を含むと少し食べやすくなり、これによってむせはないとのことである。2 年前から糖尿病で食事療法を行っている。適切なスクリーニング検査法を 3 つ挙げて、それぞれを説明して全体で 600 字以内に整理して記載せよ。

専門科目・口腔保健学2

医療・介護におけるリハビリテーション・口腔・栄養の一体的実施、いわゆる三位一体的取組みについて、その目的や意義、効果などを600字以内で記載せよ。

専門科目・口腔保健学 3

学校保健統計調査結果によると、わが国の学齢期におけるう蝕有病者率は年々減少傾向にある。その一方で、学校でのう蝕有病状況には格差が認められている。

以下の2点について、自身の考えを600字以内で記載せよ。

- (1) 学齢期におけるう蝕が減少している背景および理由について
- (2) う蝕有病状況の格差について